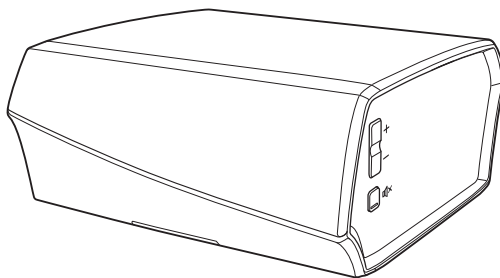




Wireless Pre-Amplifier

取扱説明書

HEOS Link HS2



使用上のご注意	6	HEOS Link をセットアップする	19
携帯電話使用時のご注意	6	HEOS デバイスを追加する	20
お手入れについて	6	有線で HEOS デバイスを追加する	20
結露(つゆつき)について	6	無線で HEOS デバイスを追加する	20
はじめに	7	HEOS Link を使う	21
はじめる前に	8	ルームを選ぶ	21
必要なシステムについて	8	ラジオを聴く	22
必要なネットワーク	8	モバイル端末の音楽を再生する	22
必要なコントローラー	9	ネットワーク内のパソコンまたは NAS の音楽を再生する	23
HEOS Link について	10	外部オーディオデバイスの音楽を再生する	24
前面	11	外部オーディオデバイスの音楽を HEOS デバイスにストリーミングする	25
コントロールボタン	12	USB デバイスの音楽を再生する	26
背面	13	Bluetooth 対応デバイスの音楽を再生する	27
HEOS Link を設置する	15	Bluetooth 対応デバイスと HEOS デバイスをペアリングする	27
外部デバイスを接続する	16	HEOS アカウントについて	28
アンプや AV レシーバーを接続する	16	HEOS アカウントとは	28
サブウーハーを接続する	16	HEOS アカウントが必要な理由	28
再生デバイスを接続する	17	HEOS アカウントに登録する	28
USB デバイスを接続する	17	HEOS アカウントを変更する	28
HEOS Link の電源を入れる	18		
HEOS アプリをダウンロードする	18		



オンラインミュージックサービスを再生する	29
オンラインミュージックサービスを追加する	29
オンラインミュージックサービスの設定を変更する	29
入力デバイス名の表示を設定する	30
入力デバイス名を変更する	30
入力デバイス名を非表示にする	30
モバイル端末の表示を設定する	31
同じ音楽を複数のルームで聴く	32
ルームをグループ化する	32
ルームのグループ化を解除する	33
すべてのルームをグループ化する(パーティーモード)	34
すべてのルームのグループ化を解除する	35
キュー機能を使う	36
すぐに再生	36
今すぐ再生、キューを入れ替え	36
次に再生	36
キューの最後に追加	36
現在のキューを並べ替える	37
キューから曲を消す	37
キューからすべての曲を消す	38
プレイリストを保存する	38
リピートとシャッフル再生をおこなう	38
お気に入り機能を使う	39
HEOS お気に入り追加する	39
HEOS お気に入りからステーションを消去する	39

設定を変更する	40
HEOS Link 名を変更する	40
無線 LAN ネットワーク接続を変更する	40
イコライザーを調節する	41
音質を変更する	41
ライン出力レベルを変更する	41
ステータス表示 LED の明るさを調節する	41
高度な設定	42
ネットワーク設定	42
無線節電機能について	42
ファームウェアのアップデート	43
HEOS デバイスについて	43
外部デバイス进行操作する	44
IP コントロール	44
IR コントロール	45
トリガーコントロール	46
トリガーアウト	46



システムを更新する	47	困ったときは	51
高度な機能	48	オーディオ/セットアップケーブルを使って HEOS デバイスをネットワークに接続できない	51
モバイル端末の音楽を共有する(ミュージックライブラリ共有)	48	Bluetooth デバイスが HEOS デバイスとペアリングできない	51
無線接続状態を確認する(ネットワーク診断ツール)	48	Bluetooth 接続したデバイスの音楽が聴こえない	52
症状を送信する(診断データの送信)	49	IR コントロールやトリガーコントロールを使って、外部デバイスを操作できない	52
HEOS アプリをリセットする	49	HEOS Link から音が聴こえない	52
電源管理	50	音楽が途切れる、または遅れる	53
電源モード	50	テレビを AUX 入力すると音声が遅れる	53
クイックスタートモード	50	AUX 入力を使うと音がひずむ	54
ディープスタンバイモード	50	WPS ネットワークに接続する	54
オフ	50	OPTICAL OUT 端子に接続したデバイスの音声にノイズが入る	54
		HEOS デバイスを初期化する	55
		HEOS デバイスをお買い上げ時の設定に戻す	55
		保証と修理について	56



ステータス表示 LED について	58
対応ファイルの種類とコーデック	65
対応する音声フォーマット (Optical)	65
主な仕様	66
情報	68
登録商標について	68
ライセンス	69
本機で使用するソフトウェアのライセンス情報	69



使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。



お買い上げいただきありがとうございます。HEOS システムをご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるようにしてください。

ご注意

- 本書の情報は予告なく変更することがあります。
最新情報については、<http://www.HEOSbyDenon.com> をご覧ください。

はじめに

HEOS Link は、お気に入りの音楽をご家庭内のどこにいても楽しむことができる、HEOS 無線マルチルームサウンドシステムの一部です。ホームネットワークと iOS または Android™ 端末上の HEOS アプリを使用して、ご自身の音楽ライブラリや多数のオンラインミュージックサービス内の音楽を再生できます。

- マルチルームオーディオ：部屋ごとに別々の曲を再生したり、複数の部屋で同じ曲を再生したりすることができます。
- ご家庭の無線 LAN ネットワークを使用して、すばやく簡単にセットアップができます。
- HEOS デバイス間でのオーディオ同期をマイクロ秒レベルで実現します。
- デノン伝統の高音質な再生ができます。
- HEOS スタートガイドに従って簡単に音楽を楽しめます。



はじめる前に

ご注意

- すでに HEOS デバイスを設置されている方は、「HEOS デバイスを追加する」へ進んでください。[\(p.20 ページ\)](#)

必要なシステムについて

HEOS デバイスを設置する前に、お使いになる環境が次の要件を満たしていることを確認してください。

■ 必要なネットワーク

無線ルーター：HEOS システムのご使用には、アクセス可能な無線 LAN (Wi-Fi) ネットワークが必要です。無線 LAN ネットワークを使用できない場合や無線 LAN ネットワークの購入と設置については、お近くの販売店にご相談ください。

高速インターネット接続：HEOS システムはインターネットにアクセスし、さまざまなオンライン音楽サービス内の音楽を再生します。また、HEOS システムはインターネット経由でソフトウェアの更新をおこないます。



■ 必要なコントローラー

無料の HEOS アプリをご使用いただくためには、次の条件を満たす iOS または Android 端末が必要です。



iOS

- iOS バージョン 7.0 以降
- iPhone® 4 以降
- iPad® 2 以降
- iPod touch® (第 5 世代) 以降



Android

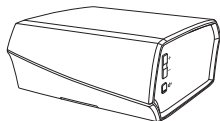
- Android OS バージョン 2.3 以降
- 全解像度



HEOS Link について

HEOS Link の箱を開けて、次の同梱品が入っていることを確認してください。

① HEOS Link



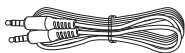
② スタートガイド
(保証書を含む)



③ 安全にお使いいただくために



④ オーディオ/セットアップケーブル



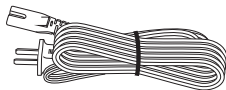
⑤ オーディオケーブル



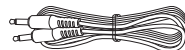
⑥ LAN ケーブル



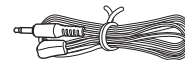
⑦ 電源コード
【本機専用】



⑧ IR ダイレクトケーブル



⑨ IR エミッターケーブル

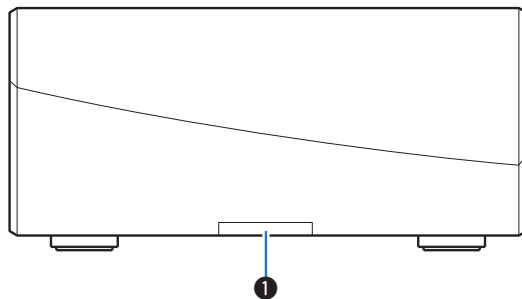


ご注意

- 必ず本製品に同梱の電源コードを使用してください。



■ 前面

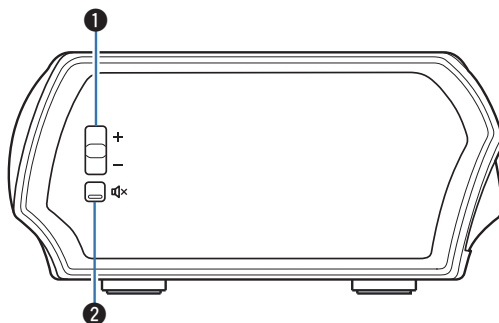


① ステータス表示 LED

詳しくは、「ステータス表示 LED について」をご覧ください。(P.58 ページ)



■ コントロールボタン



① 音量調節ボタン(+、-)

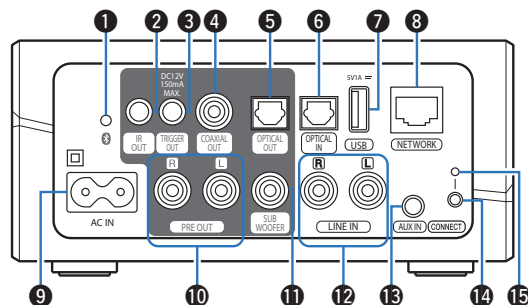
音量を調節します。

② ミュートボタン(🔊X)

消音します。もう一度押すと、消音を解除します。



■ 背面



① Bluetooth ボタン(📶)

Bluetooth 対応デバイスとペアリングするときに使用します。(📖 27 ページ)

② IR 出力端子(IR OUT)

デノン製の AV レシーバーやプリメインアンプ、オーディオシステムを接続します。(📖 45 ページ)

③ トリガーアウト端子(TRIGGER OUT)

外部アンプを接続します。(📖 46 ページ)

④ デジタルオーディオ出力端子(COAXIAL OUT)

COAXIAL 入力端子付きのアンプや AV レシーバー、オーディオシステムを接続します。(📖 16 ページ)

⑤ デジタルオーディオ出力端子(OPTICAL OUT)

OPTICAL 入力端子付きのアンプや AV レシーバー、オーディオシステムを接続します。(📖 16 ページ)

⑥ デジタルオーディオ入力端子(OPTICAL IN)

OPTICAL 出力端子付きのアンプや AV レシーバー、オーディオシステムを接続します。(📖 17 ページ)

⑦ USB 端子(USB)

USB デバイスを接続します。(📖 17 ページ)

⑧ ネットワーク端子(NETWORK)

有線 LAN ネットワークに接続するときに、LAN ケーブルを接続します。(📖 20 ページ)

⑨ AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(📖 18 ページ)

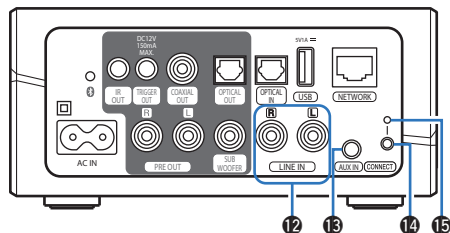
⑩ アナログプリアウト端子(PRE OUT)

アンプや AV レシーバー、オーディオシステムを接続します。(📖 16 ページ)

⑪ サブウーハー端子(SUB WOOFER)

本機をサブウーハーに接続します。(📖 16 ページ)



**12 アナログライン入力端子(LINE IN)**

同梱のオーディオケーブルでオーディオデバイスを接続します。(P.17 ページ)

13 AUX 入力端子(AUX IN)

3.5mm ステレオケーブルでオーディオデバイスを接続します。(P.17 ページ)

無線 LAN ネットワークに HEOS デバイスを追加するときに使用します。(P.20 ページ)

14 接続ボタン(CONNECT)

無線 LAN のセットアップ時に使用します。

15 接続ステータス表示 LED

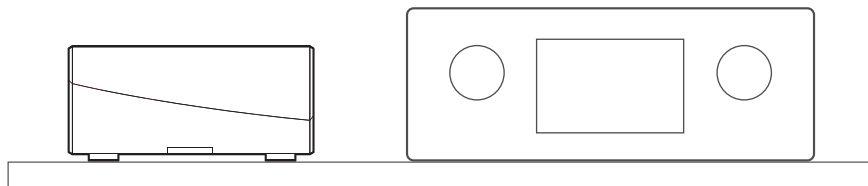
HEOS デバイスの接続状態を表示します。(P.58 ページ)



HEOS Link を設置する

HEOS Link はアンプなどと接続することで、アンプなどを HEOS マルチルームサウンドシステムに追加できます。アンプなどと接続しやすい場所に設置してください。

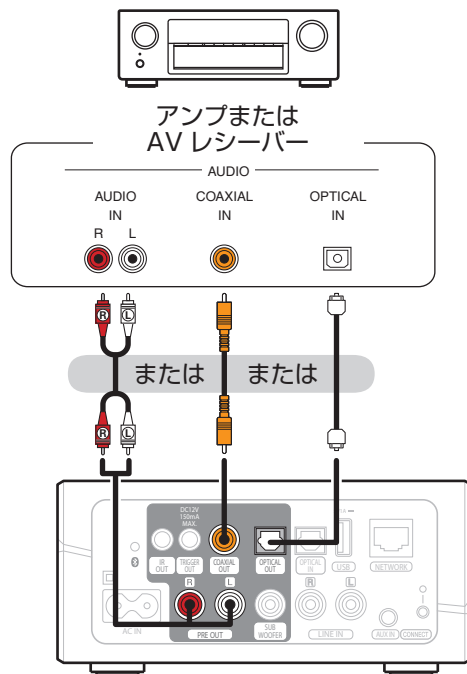
- 無線 LAN ネットワークの受信可能範囲内に設置してください。
- 防水仕様ではありません。水の近くに置かないでください。また、雨や雪の降る屋外に放置しないでください。



外部デバイスを接続する

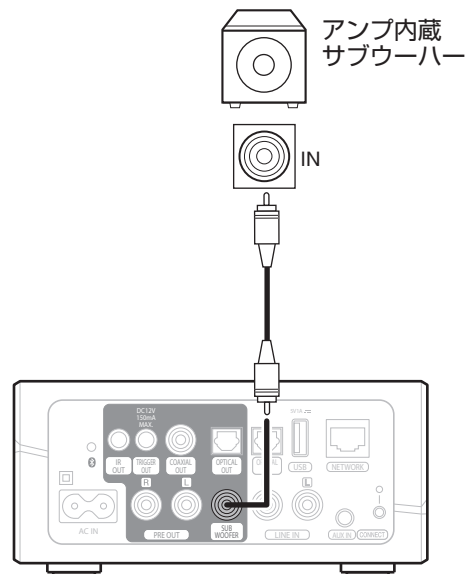
■ アンプや AV レシーバーを接続する

アンプまたは AV レシーバーと PRE OUT 端子、COAXIAL OUT 端子、または OPTICAL OUT 端子を接続します。



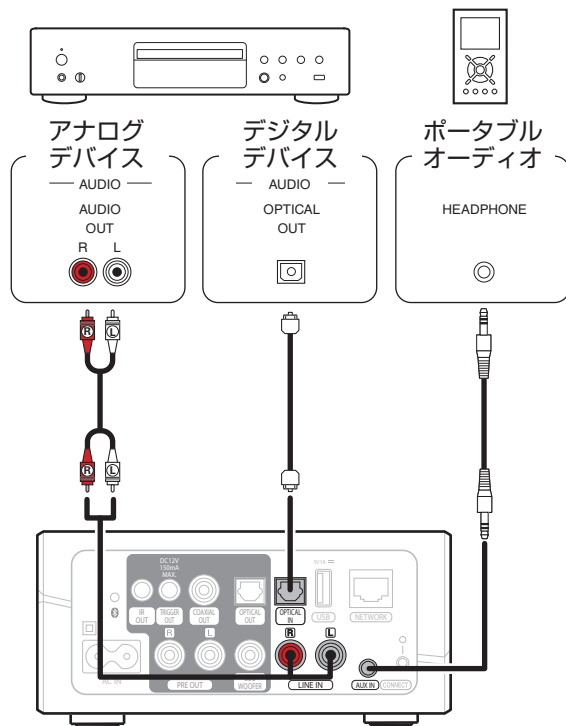
■ サブウーハーを接続する

サブウーハーを SUB WOOFER 端子に接続します。



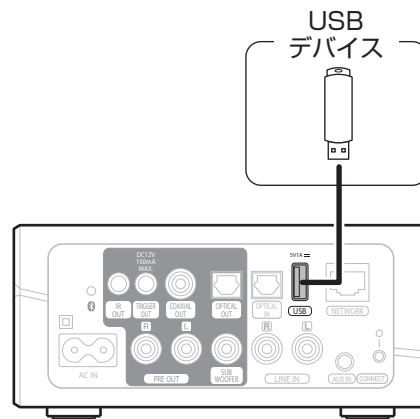
■ 再生デバイスを接続する

オーディオ再生デバイス(CD プレーヤーやポータブルオーディオデバイスなど)と LINE IN 端子、AUX IN 端子または OPTICAL IN 端子を接続します。



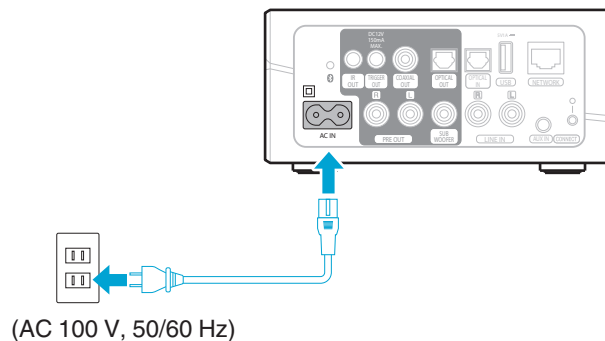
■ USB デバイスを接続する

音楽ファイルが保存された USB デバイス(FAT32 でフォーマットされたもの)を USB 端子に接続します。



HEOS Link の電源を入れる

同梱の電源コードを HEOS Link 背面に接続してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



HEOS アプリをダウンロードする

iOS や Android 端末で HEOS アプリを使用すると、ご家庭のどこからでも HEOS システムを操作できます。

App StoreSM、Google PlayTMストアまたは Amazon アプリストアで “HEOS by Denon” を検索して、iOS 用または Android 用の HEOS アプリをダウンロードしてください。



仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更する場合があります。



HEOS Link をセットアップする

HEOS Link を設置し、HEOS アプリをダウンロードしたら、ホームネットワークに接続するための設定をおこないます。

警告

- HEOS Link を無線 LAN ネットワークに接続する場合は、LAN ケーブルを接続しないでください。HEOS Link を有線 LAN でネットワークに接続する場合は、LAN ケーブルを使用してルーターやハブに接続してください。

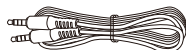
1 モバイル端末が無線 LAN ネットワーク(HEOS Link と同じネットワーク)に接続されていることを確認する。

iOS または Android 端末の“セッティング” - “Wi-Fi メニュー”で確認できます。

ご注意

- 無線 LAN ネットワークがパスワードで保護されている場合は、パスワードを確認してください。

2 同梱のオーディオ/セットアップケーブルを用意する。



3 モバイル端末で HEOS アプリを起動する。



4 HEOS アプリが起動したら、画面上部の“今すぐセットアップ”をタップする。

5 画面の指示に従って、HEOS Link を無線 LAN ネットワークに追加する。

モバイル端末の Wi-Fi 設定を、オーディオ/セットアップケーブル経由で HEOS Link にコピーします。

ご注意

- HEOS デバイスが正しくセットアップできない場合は、「困ったときは」をご覧ください。[\(P.51 ページ\)](#)



HEOS デバイスを追加する

HEOS 無線マルチルームサウンドシステムでは、最大 32 台の HEOS デバイスを HEOS システムに追加できます。追加した複数の HEOS デバイス間で、音声再生を同期させることもできます。

有線で HEOS デバイスを追加する

HEOS デバイスを LAN ケーブルでホームネットワークに接続すると、追加された HEOS デバイスを HEOS アプリの“ルーム”メニューに表示します。

また、HEOS デバイスに任意の名前を割り当てると、どの部屋に設置している HEOS デバイスなのかがわかりやすくなります。

ご注意

- 接続には STP または ScTP LAN ケーブルのみをお使いください。(CAT-5 以上推奨)
- HEOS デバイスの NETWORK 端子とパソコンの LAN ポート/イーサネット端子を直接 LAN ケーブルで接続しないでください。
- 電気通信端末機器認定品の市販ルーターなどに LAN 接続してください。

無線で HEOS デバイスを追加する

HEOS アプリの“セッティング”メニューから“HEOS デバイスの追加”を選び、画面の指示に従って操作してください。



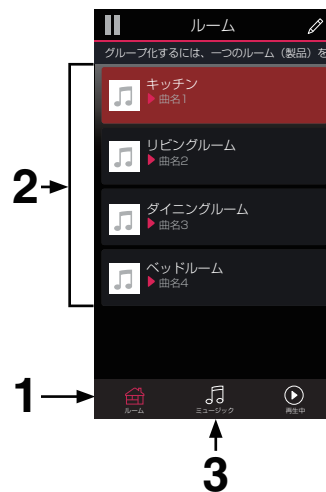
HEOS Link を使う

HEOS デバイスをネットワークに接続し、HEOS アプリをモバイル端末にインストールすると、すぐにお気に入りの音楽を楽しめます。それぞれの HEOS デバイスで別の音楽を再生したり、すべての HEOS デバイスで同じ音楽を同時に再生したりすることもできます。

ルームを選ぶ

複数の HEOS デバイスを接続している場合は、操作する HEOS デバイスを選んでください。

- 1 “ルーム” タブをタップする。
- 2 操作したいルームを選ぶ。
- 3 “ミュージック” タブから音楽ソースを選び、“再生中” タブから音量などを操作する。



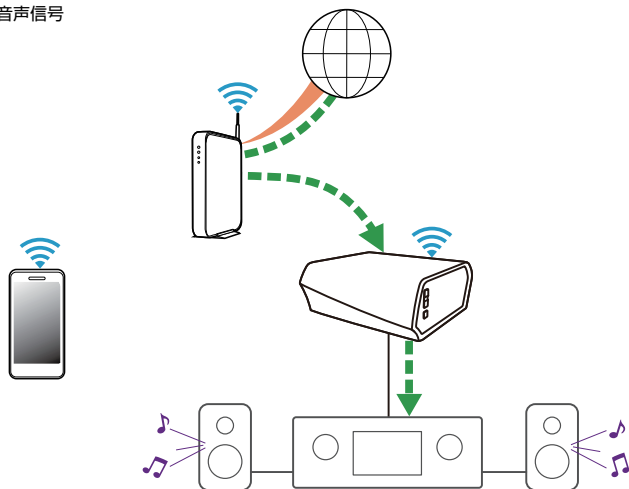
ラジオを聴く

HEOS システムでは、TuneIn ラジオサービスにアクセスして世界中から 100,000 以上の無料インターネットラジオ放送を視聴できます。TuneIn を“ミュージック”メニューから選び、カテゴリー分けされた 100,000 以上の放送局の中からお気に入りの局を選んでください。

ご注意

- TuneIn アカウントをお持ちの場合、“セッティング” - “ミュージックソース” - “TuneIn” で TuneIn サービスにサインインすると、すべての“My Favorites”の TuneIn ステーションにアクセスできます。

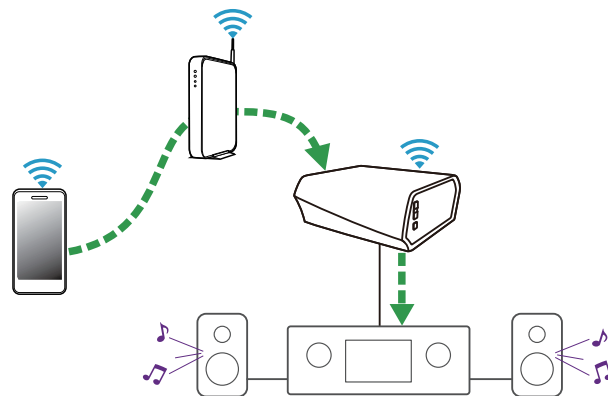
■■■ 音声信号



モバイル端末の音楽を再生する

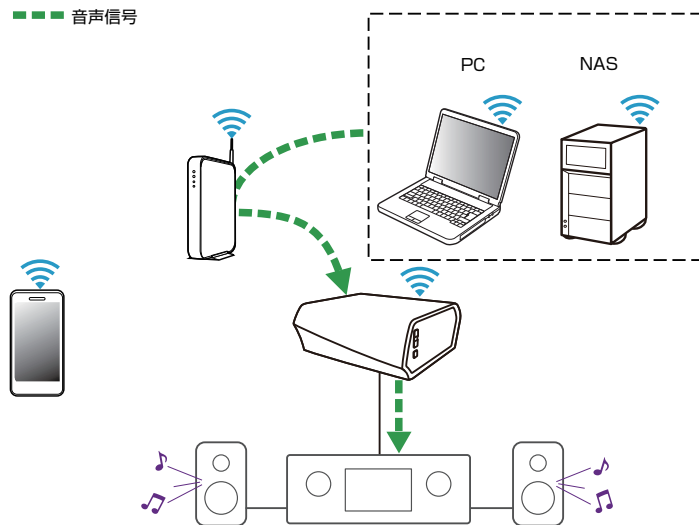
- 1 “ミュージック” タブをタップする。
- 2 “この iPhone/iPod/iPad/スマートフォン” を選ぶ。
- 3 モバイル端末内の音楽データから再生する音楽を選ぶ。

■■■ 音声信号



ネットワーク内のパソコンまたはNAS の音楽を再生する

- 1 “ミュージック” タブから “ミュージックサーバー”
を選ぶ。
- 2 ネットワーク内のパソコンまたは NAS サーバーの名
前を選ぶ。
- 3 パソコン/NAS 内の音楽データから、再生する音楽を
選ぶ。



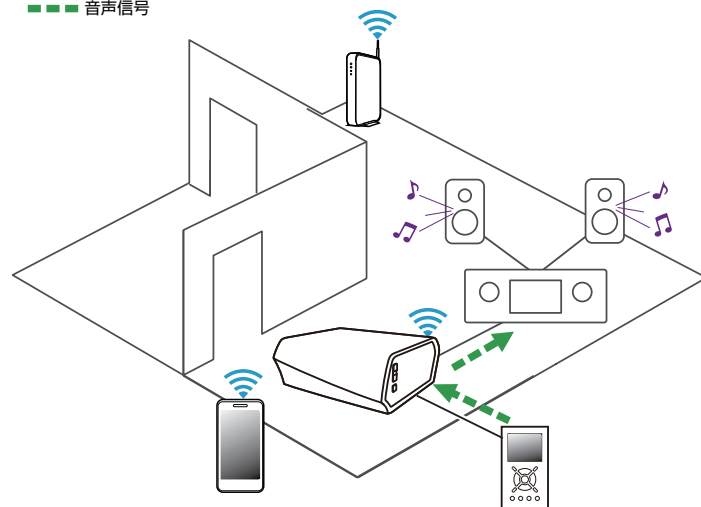
外部オーディオデバイスの音楽を再生する

- 1 光伝送ケーブル、オーディオケーブルまたは 3.5mm ステレオケーブルを使用して、オーディオデバイスを HEOS Link に接続する。
- 2 “ミュージック” タブから “外部入力” を選ぶ。
- 3 HEOS Link の名前と、手順 1 で接続したオーディオデバイスを選ぶ。
- 4 接続したオーディオデバイスで音楽を再生する。

ご注意

- 同梱のオーディオ/セットアップケーブルを AUX IN 端子に接続すると、入力ソースが自動的に “外部入力” に切り替わります。

--- 音声信号



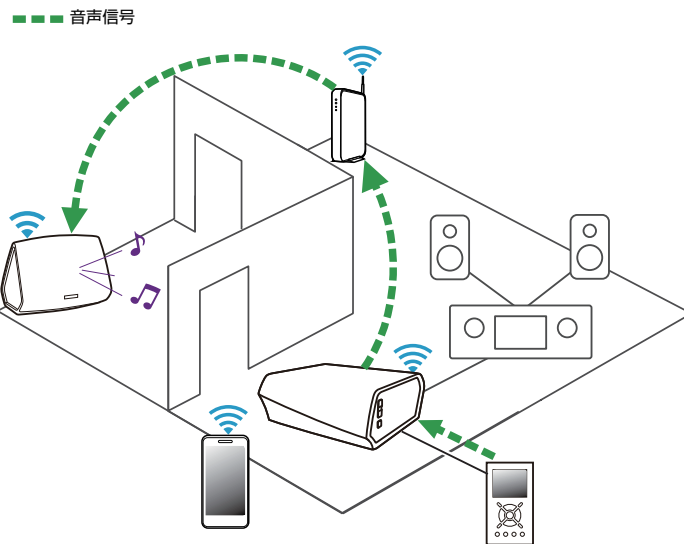
外部オーディオデバイスの音楽を HEOS デバイスにストリーミングする

オーディオデバイスの音声は、接続した HEOS デバイスから直接再生できます。また、ネットワーク経由で他の HEOS デバイスでも再生できます。

- 1 光伝送ケーブル、オーディオケーブルまたは 3.5mm ステレオケーブルを使用して、オーディオデバイスを HEOS Link に接続する。
- 2 “ミュージック” タブから “外部入力” を選ぶ。
- 3 HEOS Link の名前と、手順 1 で接続したオーディオデバイスを選ぶ。
- 4 接続したオーディオデバイスで音楽を再生する。

ご注意

- 同梱のオーディオ/セットアップケーブルを AUX IN 端子に接続すると、入力ソースが自動的に “外部入力” に切り替わります。



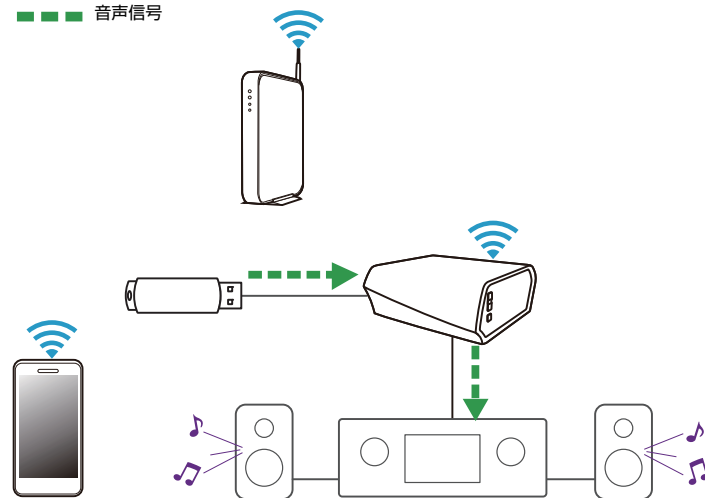
USB デバイスの音楽を再生する

- 1 FAT32 でフォーマットされている USB デバイスを HEOS Link 背面の USB 端子に接続する。
- 2 “ミュージック” タブから “USB 入力” を選ぶ。
- 3 HEOS デバイス名を選ぶ。
- 4 USB デバイス内の音楽データから、再生する音楽を選ぶ。

ご注意

- USB デバイスに大量のファイルが保存されている場合、HEOS デバイスの名前が “USB 入力” リストに表示されるまでに数分かかる場合があります。
- USB ケーブルを使用して、HEOS スピーカーの USB 端子とパソコンを接続して使用することはできません。

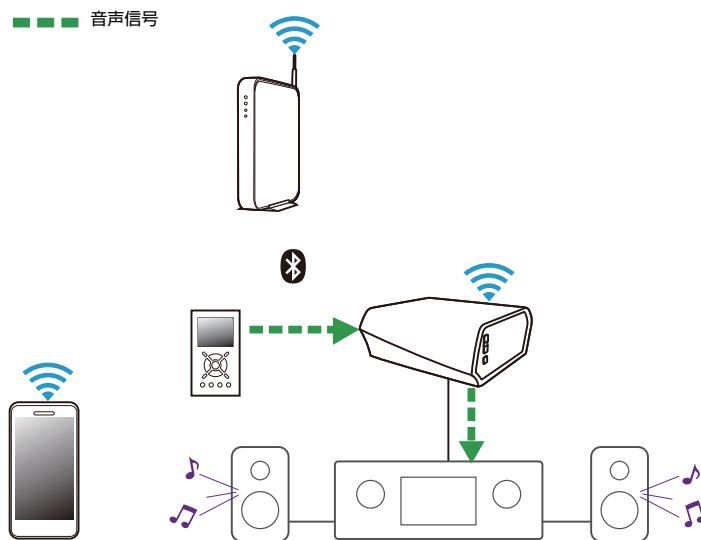
■ ■ ■ 音声信号



Bluetooth 対応デバイスの音楽を再生する

■ Bluetooth 対応デバイスと HEOS デバイスをペアリングする

- 1 Bluetooth 対応デバイスの Bluetooth 機能をオンにする。
- 2 HEOS Link のステータス表示 LED が 2 回ずつ緑色に点滅するまで、背面の Bluetooth ボタン(Bluetooth 記号)を長押しする。
- 3 使用できる Bluetooth 対応デバイスのリストから、“HEOS Link” を選ぶ。
数秒後、Bluetooth 対応デバイスに HEOS Link と接続されたことを伝えるメッセージを表示します。
- 4 Bluetooth 対応デバイスで音楽を再生する。
HEOS Link から音楽を再生します。



ご注意

- 音楽が聴こえない場合は、お使いの Bluetooth 対応デバイスとの接続を切断し、再接続してください。



HEOS アカウントについて

■ HEOS アカウントとは

HEOS アカウントは、1 つのユーザー名とパスワードですべての HEOS で再生可能な音楽サービスを管理するマスターアカウントです。


■ HEOS アカウントが必要な理由

HEOS アカウントを使用することで、オンラインミュージックサービスへのログイン名とパスワード入力が一度で済みます。HEOS アカウントでログインすれば、友人宅の HEOS システムで音楽を聴くときでも、アカウント登録しているオンラインミュージックサービスや再生履歴、カスタムプレイリストにアクセスできます。

■ HEOS アカウントに登録する

HEOS アプリの“ミュージック”メニューからはじめて音楽サービスにアクセスするときに、HEOS アカウントへのご登録をおすすめするメッセージと登録画面を表示します。

■ HEOS アカウントを変更する

- 1 “ミュージック” タブをタップする。
- 2 画面左上の  アイコンをタップする。
- 3 “HEOS アカウント” をタップする。
- 4 位置情報の変更やパスワードの変更、アカウントの削除、サインアウトをおこなう。



オンラインミュージックサービスを再生する

無料または有料配信で、膨大な楽曲を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。お住まいの地域に対応しているサービスについては、<http://www.HEOSbyDenon.com>をご覧ください。


■ オンラインミュージックサービスを追加する

HEOS アカウントを設定している場合は、“ミュージック” タブのオンラインミュージックをタップして対応しているオンラインミュージックサービスを HEOS システムに追加できます。

画面上の指示に従い、選択したオンラインミュージックサービスのユーザー名とパスワードを入力してください。HEOS アカウントサービスはログイン情報を記憶しますので、ユーザー名とパスワードは一度入力するだけでよく、再生するたびに入力する必要はありません。

今後追加される新しいオンラインミュージックサービスは、“セッティング” - “ミュージックソース” でご使用いただける場合があります。


■ オンラインミュージックサービスの設定を変更する

- 1 “ミュージック” タブをタップする。
- 2 画面左上の  アイコンをタップする。
- 3 “ミュージックソース” をタップする。
- 4 “オンラインミュージック” をタップする。
- 5 編集したいオンラインミュージックサービスを選ぶ。
- 6 一度サインアウトし、再度サインインして HEOS アカウントにユーザー名とパスワードを関連付ける。
- 7 “ミュージック” メニューに音楽サービスが表示されないように、“今は非表示にする” を選ぶ。




入力デバイス名の表示を設定する

HEOS デバイスの入力端子に外部デバイス(CD プレーヤー、携帯音楽プレーヤー、ケーブルボックスなど)を接続しているときに、初期入力名を変更して接続しているデバイス名を表示させたり、使用していない外部デバイスを表示しないように設定できます。

- 1 “ミュージック” メニューの左上にある  アイコンをタップして、設定メニューを表示させる。
- 2 “ミュージックソース” をタップする。
- 3 “外部入力” をタップする。
- 4 外部デバイスを接続している HEOS デバイスを選ぶ。

■ 入力デバイス名を変更する

- 1 編集したい入力デバイス名をタップする。
- 2 “名前” をタップする。
- 3 接続している入力デバイスの新しい名前を選ぶか入力する。
- 4  アイコンをタップして、変更を保存する。


■ 入力デバイス名を非表示にする

- 1 非表示にする入力デバイス名をタップする。
- 2 “ミュージック” メニューに表示しないように、“外部入力の非表示” を有効にする。



モバイル端末の表示を設定する

スマートフォンやタブレットなどを“ミュージックソース”メニューに表示させる必要がない場合、表示しないように設定できます。

- 1 “ミュージック”メニューの左上にある  アイコンをタップして設定メニューを表示させる。
- 2 “ミュージックソース”をタップする。
- 3 “このiPhone/iPod/iPad/スマートフォン”をタップする。
- 4 “ミュージック”メニューに表示しないためには、“このiPhone/iPod/iPad/スマートフォン”を無効にする。



同じ音楽を複数のルームで聴く

HEOS システムは、複数の HEOS デバイス間の音楽再生を自動的に同期できます。

最大 32 台の HEOS デバイスを HEOS システムに追加できます。

また、最大 16 台までの HEOS デバイスを 1 つのグループにすることで、1 つの HEOS デバイスのように機能させることができます。

■ ルームをグループ化する

- 1 “ルーム” タブをタップする。
- 2 音楽を再生していないルームをホールド(指で押さえたままに)する。
- 3 そのまま音楽を再生しているルーム(赤枠で囲まれている)までドラッグする。
2 つのルームが 1 つのデバイスグループにグループ化され、両方のルームで同じ音楽を再生します。



■ ルームのグループ化を解除する

- 1 “ルーム” タブをタップする。
- 2 グループから外したいルームをホールド(指で押さえたままに)する。

ご注意

- グループ化する際に、音楽を再生していたルームをグループから外すことはできません。

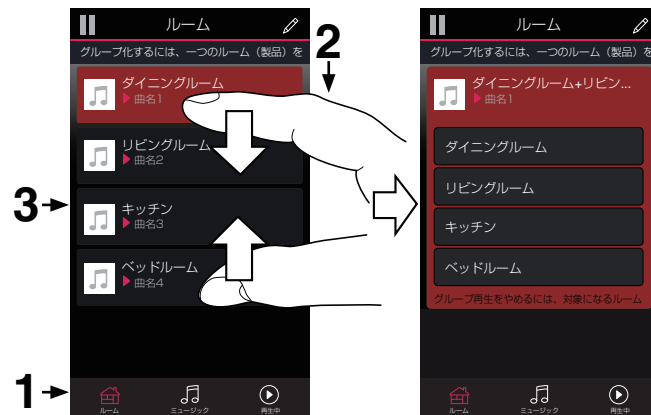
- 3 グループ(赤枠)の外にドラッグして、指を離す。
グループから外したルームでは音楽再生を停止しますが、他のルームでは再生を続けます。



■ すべてのルームをグループ化する(パーティーモード)

ピンチジェスチャーを使って、最大 16 のルームをグループ化できます。

- 1 “ルーム” タブをタップする。
- 2 ルームのリスト上の画面に2本の指を置く。
- 3 2本の指ですばやくつまむ動作をして、画面から離す。
すべてのルームがグループ化され、同じ音楽がすべてのルームで再生します。



■ すべてのルームのグループ化を解除する

スプレッドジェスチャーを使って、すべてのルームのグループ解除ができます。

- 1 “ルーム” タブをタップする。
- 2 ルームのリスト上の画面に2本の指を近づけて置く。
- 3 2本の指をすばやく互いに遠ざけ、画面から離す。
すべてのルームのグループが解除され、それぞれのルームの音楽が停止します。(グループ化前から再生中だったルームを除きます。)



キュー機能を使う

キュー(次に再生する曲のリスト)を使用して、曲を再生する順番を指定できます。キューに追加する曲は、再生デバイス内やネットワーク上から選択できます。(ラジオまたはステーション型ストリームで配信されている曲を除きます。)
再生可能な曲(曲、アルバム、プレイリストまたは所有している音楽コレクションの曲)を選択して、キューに追加してください。曲の追加時、どのようにリストに追加するかを指定します。



- ① キューメニュー
曲の追加時、どのようにリストに追加するかを選択します。
- ② キューアイコン
- ③ えんぴつアイコン
- ④ 削除アイコン
- ⑤ 保存アイコン
- ⑥ カバーアートまたは HEOS アイコン
タップすると、“再生中”画面に戻ります。

■ すぐに再生

現在再生している曲の次に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。

■ 今すぐ再生、キューを入れ替え

キューを削除し、選択した曲をすぐに再生します。

■ 次に再生

現在再生しているトラックの次に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。




■ キューの最後に追加

選択した曲をキューの最後に追加します。






現在のキューを並べ替える

キューに登録されている曲の再生順を変更できます。

- 1 “再生中” タブをタップする。
- 2 画面右上の  アイコンをタップする。
- 3  アイコンをタップして、編集モードに入る。
- 4  アイコン(各トラック列の右側)を上下にドラッグして、曲の順序を変更する。
上から順に音楽を再生します。

キューから曲を消す



再生中のキューから 1 曲ずつ削除できます。

- 1 “再生中” タブをタップする。
- 2 画面右上の  アイコンをタップする。
- 3  アイコンをタップして、編集モードに入る。
- 4 削除したい曲をタップする。
- 5  アイコンをタップして、再生中のキューから曲を削除する。






キューからすべての曲を消す

再生中のキューからすべての曲を削除できます。

- 1 “再生中” タブをタップする。
- 2 画面右上コーナーの  アイコンをタップする。
- 3  アイコンをタップして、キューからすべての曲を削除する。



プレイリストを保存する

再生中のキューを HEOS プレイリストとして保存できます。保存されたプレイリストは、HEOS システムに接続された各モバイル端末の HEOS アプリで、“ミュージック” タブから呼び出せます。

- 1 “再生中” タブをタップする。
- 2 画面右上コーナーの  アイコンをタップする。
- 3  アイコンをタップする。
- 4 プレイリストの名前を入力して、 アイコンをタップする。

リピートとシャッフル再生をおこなう

“再生中” 画面上に再生コントロールを表示します。

- 1 “再生中” タブをタップする。
- 2 カバーアートをタップして、リピート  とシャッフル  コントロールを表示させる。



お気に入り機能を使う

“HEOS お気に入り”を使用すると、すぐに再生をはじめられるようにお気に入りのステーションをリスト化できます。リスト化するステーションは、ラジオまたはステーション型ストリームなどのオンライン音楽ソースから選択できます。“お気に入り”には、各種サービスのステーションリストが表示されます。


■ HEOS お気に入りの追加する

オンライン音楽ソースからステーションを選択してください。メニュー画面が表示されたら、“ラジオ局を HEOS お気に入りに追加”を選択してください。

ご注意

- 再生中のステーションのメニューから“ラジオ局を HEOS お気に入りに追加”を選択しても追加できます。


■ HEOS お気に入りからステーションを消去する

- 1 “ミュージック” タブをタップする。
- 2 “お気に入り” をタップする。
- 3  アイコンをタップして、編集モードに入る。
- 4 削除したいステーションの“削除”をタップする。



設定を変更する

お使いの状況に合わせて、各 HEOS Link の設定を変更できます。

- 1 “ミュージック” メニューの左上にある  アイコンをタップして、設定メニューを表示させる。
- 2 “マイデバイス” を選び、HEOS デバイスのリストを表示させる。
- 3 設定を変更する HEOS Link をタップする。

HEOS Link 名を変更する

- 1 “名前” をタップする。
- 2 HEOS Link の新しい名前を選ぶか入力する。
- 3 “次へ” をタップして変更を保存する。

無線 LAN ネットワーク接続を変更する

- 1 “ネットワーク” をタップする。
お使いの HEOS Link がアクセスできる無線 LAN ネットワークのリストを表示します。
- 2 リストから HEOS Link を接続するネットワークを選ぶ。
HEOS Link のネットワーク接続が変更されるまでお待ちください。

ご注意

- HEOS Link を有線 LAN ネットワークに接続している場合は、有線 LAN ネットワークを自動的に選択します。無線 LAN ネットワークに接続する場合は、LAN ケーブルを背面から抜いてください。



イコライザーを調節する

- 1 “EQ” をタップする。
- 2 “高音” または “低音” を調節する。

ご注意

- “リセット” をタップすると、お買い上げの設定に戻ります。

音質を変更する

別ルームの HEOS デバイスに接続している外部デバイスの音楽ソースを再生するときの音質を設定します。“高品質” を選択すると、入力ソースの品質のまま配信されます。(P.25 ページ)

- 1 “音声配信クオリティ” をタップする。
- 2 “標準”(お買い上げ時の設定)または“高品質” をタップする。



- “高品質” に設定しているときに音が途切れる場合は、“標準” を選択してください。

ライン出力レベルを変更する

- 1 “ライン出力レベル” をタップする。
- 2 最適な出力レベルに固定する“固定” か、再生画面で音量を調節する“可変出力” を選ぶ。



- IP コントロールの設定が有効な場合、“ライン出力レベル” の設定は無効になります。

ステータス表示LEDの明るさを調節する

- 1 “ステータス LED の明るさ” をタップする。
- 2 スライダーを動かして、明るさを調節する。
スライダーをオフにすると、ステータス表示 LED は消灯します。



高度な設定

警告

- 高度な設定が正しくおこなわれなかった場合、HEOS デバイスがネットワークから切断されて使用できなくなります。お使いの HEOS デバイスに問題がない限り、設定を変更しないでください。

■ ネットワーク設定

- 1 “詳細設定” をタップする。
- 2 “NETWORK SETTINGS” タブをタップする。
- 3 次のオプションをすべて表示させるために、画面をスクロールする。
 - a. Network Interface (Ethernet or Wireless)
 - b. Wireless Settings
 - c. IP Address Settings (Automatic or Manual)
 - d. Wireless Power Saving
- 4 “Save Settings” をタップして新しい設定を適用するか、“Cancel Changes” をタップして以前の設定に戻す。

■ 無線節電機能について

HEOS デバイスを有線 LAN でネットワークに接続している際に、HEOS デバイスの無線 LAN 機能をオフにして節電します。HEOS デバイスから LAN ケーブルを抜くと、無線節電機能は自動的にオフになり無線 LAN 機能が有効になるため、HEOS デバイスを無線 LAN ネットワーク上で認識できます。

ご注意

- 無線節電機能がオンの場合でも、HEOS アプリ内の“マイデバイス” – (“デバイス名”) – “ネットワーク” 画面にアクセスするときや、HEOS デバイスの CONNECT ボタンを押したときは、無線 LAN 機能が一時的にオンになります。



■ ファームウェアのアップデート

- 1 “詳細設定” をタップする。
- 2 “FIRMWARE UPDATE” タブをタップする。

☐ Update status

手動でファームウェアの更新を確認します。

☐ Allow updates

On: 更新を許可します。

Off: 更新を許可しません。

- 3 “Save Settings” をタップして新しいファームウェアを適用するか、以前の設定に戻すために “Cancel Changes” をタップする。

■ HEOS デバイスについて

HEOS デバイスの技術に関する情報を表示します。


- 1 “詳細設定” をタップする。
- 2 “ABOUT” タブをタップする。
- 3 下にスクロールしてデバイスの情報を確認する。
 - a. Hardware
 - b. Software
 - c. Device



外部デバイスを操作する

HEOS Link は、デノン製の AV レシーバーやプリアンプ、Hi-Fi システムを操作できます。

電源のオン/オフや入力切り替え、音量の調節やミュートなどをおこなえます。

- 1 “ミュージック” メニューの左上にある  アイコンをタップして設定メニューを表示させる。
- 2 “マイデバイス” を選び、デバイスのリストを表示させる。
- 3 “HEOS Link” をタップする。
- 4 “コントロール” をタップする。
- 5 お使いの状況に合わせて設定する。

■ IP コントロール

2010 年以降に発売された、デノン製のネットワーク対応 AV レシーバーと HEOS Link やモバイル端末は同じネットワークに接続してください。

- 1 “IP コントロール” をタップする。
- 2 HEOS Link に接続した AV レシーバーをタップする。
- 3 HEOS Link に接続した AV レシーバーの入力ソースをタップする。
- 4 “完了” をタップする。

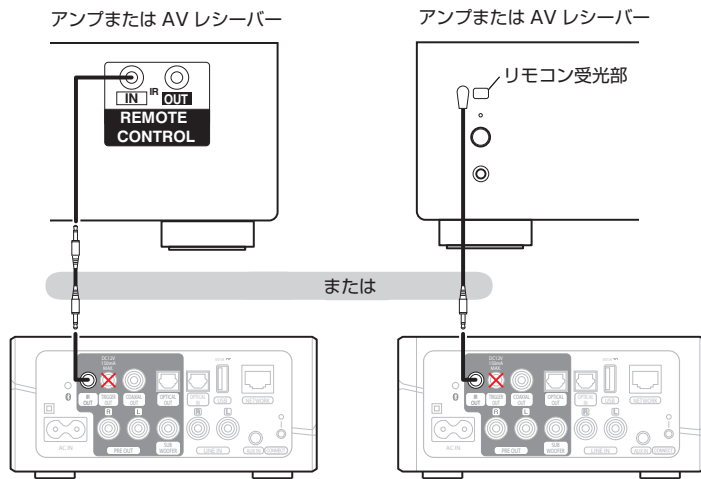
ご注意

- 設定が完了したら、AV レシーバーに接続して電源のオン/オフや入力切り替えなどを確認してください。
- IP コントロールが設定されている場合、自動的に“ライン出力レベル”が“固定”に設定されます。



■ IR コントロール

2010 年以降に発売された、デノン製の AV レシーバーを接続するときに設定します。同梱の IR ダイレクトケーブルまたは IR エミッターケーブルを使用して、AV レシーバーと HEOS Link を接続してください。



ご注意

- HEOS Link の TRIGGER OUT 端子に IR ダイレクトケーブルおよび IR エミッターケーブルを接続すると、AV レシーバー、アンプまたはケーブルを破損する場合があります。

- 1 “IR コントロール” をタップする。
- 2 IR ケーブルで HEOS Link に接続しているデバイスのタイプ(“AVR”、“Hi-Fi/PMA” または “System/Mini”)をタップする。
- 3 HEOS Link に接続したデバイスの入力ソースをタップする。
- 4 “完了” をタップする。

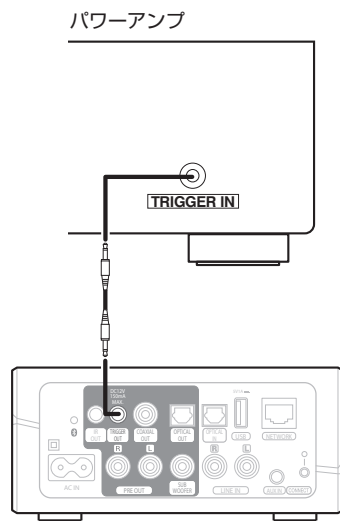
ご注意

- 設定が完了したら、接続するデバイスで電源のオン/オフや入力の切り替えなどを確認してください。



■ トリガーコントロール

パワーアンプにトリガー入力端子がある場合、別売りの 3.5mm ケーブルを使用して HEOS Link の TRIGGER OUT 端子と接続できます。TRIGGER OUT 端子からは 12 V/150 mA までの信号を出力します。



■ トリガーアウト

+12V のトリガー入力に対応したパワーアンプと HEOS デバイスを接続する場合は、“トリガーコントロール”を選択してください。

HEOS アプリでは、電源のオン/オフを操作できます。

1 “トリガー” をタップする。

2 “完了” をタップする。

ご注意

- 設定が完了したら、パワーアンプに接続して電源のオン/オフができるかを確認してください。


ご注意

- TRIGGER OUT 端子の接続には、モノラルの 3.5mm ケーブルを使用してください。ステレオミニプラグケーブルは使用しないでください。



システムを更新する

HEOS は、高速インターネット経由でソフトウェアの更新および機能の追加ができます。HEOS デバイスと HEOS アプリまたはどちらか一方を更新するには、画面上に表示される手順に従ってください。

1 “ミュージック” メニューの左上にある  アイコンをタップして、設定メニューを表示させる。

2 “ソフトウェアアップデート” をタップする。

□ アップデートを確認

更新がある場合は、画面上に表示される手順に従ってインストールしてください。


□ 自動アップデート

有効:	アップデートを自動更新します。
無効:	アップデートを通知します。



高度な機能

HEOS システムには高度な機能があります。基本的な操作に慣れたらお試しください。次の手順で HEOS システムの高度な機能を設定できます。

- 1 “ミュージック” メニューの左上にある  アイコンをタップして、設定メニューを表示させる。
- 2 “詳細設定” を選び、設定一覧を表示させる。

モバイル端末の音楽を共有する(ミュージックライブラリ共有)

HEOS アプリには、モバイル端末内の音楽をホームネットワーク上の HEOS アプリユーザーと共有できる“ミュージックライブラリ共有”という機能があります。この機能を有効にするには、“ミュージックライブラリ共有”をタップして“オン”に設定してください。

音楽を共有するモバイル端末名を音楽サーバーとして表示して、他の HEOS アプリから閲覧と音楽再生が可能になります。

無線接続状態を確認する(ネットワーク診断ツール)

HEOS デバイスの無線接続状態を確認できます。

ワイヤレスの品質

強い / 良好 / 弱い



- HEOS デバイスの接続状態が“弱い”場合は、無線接続に干渉する他の電子デバイス(電子レンジ、コードレス電話、テレビなど)が近くにないか確認してください。



症状を送信する(診断データの送信)

ネットワークまたは HEOS システムでお困りの場合は、お問い合わせの際に担当者が診断オプションを選択するようお願いすることがあります。その際、HEOS システムの診断情報をデノンの技術サポートに送信する機能です。

ご注意

- 個人情報が送信されたり、共有されたりすることはありません。

HEOS アプリをリセットする

インストールした HEOS アプリを初期設定の状態にリセットする機能です。アプリの削除やアプリストアからダウンロード、再インストールをする必要はありません。



電源管理

電源モード

■ クイックスタートモード

本機は約 20 分間ネットワークへのアクセスがない場合や音楽を再生されない場合に、自動的にクイックスタートモードに切り替わって消費電力を抑えます。HEOS システムを操作したり、音楽を再生したりすると自動的に通常の電力モードに戻ります。

■ ディープスタンバイモード

クイックスタートモード時に 60 分以上有線または無線 LAN ネットワークに接続されていないと、HEOS システムは自動的に“ディープスタンバイモード”に切り替わります。ディープスタンバイモード中は前面のステータス表示 LED が消灯します。音量調節ボタンまたはミュートボタンを押すとディープスタンバイモードを解除して、前面のステータス表示 LED が点灯します。

■ オフ

HEOS システムの電源を切りたいときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。



困ったときは

オーディオ/セットアップケーブルを使って HEOS デバイスをネットワークに接続できない

対処方法	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> HEOS デバイスの設定をおこなう前に、スマートフォン/タブレットが無線でホームネットワークに接続されていることを確認してください。 	19
<ul style="list-style-type: none"> HEOS デバイスに同梱の LAN ケーブルでネットワークルーターに接続できます。LAN ケーブルで接続すると、HEOS アプリが HEOS デバイスを認識しますので、“セッティング” – “マイデバイス” – “(デバイス名)” – “詳細設定” – “Network Settings” から手動で無線 LAN ホームネットワークに接続してください。 	20

Bluetooth デバイスが HEOS デバイスとペアリングできない

対処方法	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth 対応デバイスとのペアリングが正しく機能していません。Bluetooth 対応デバイスの電源を入れ直してペアリング情報を消去してから、再度 HEOS Link とペアリングしてください。 	27
<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth ボタンを 3 秒以上長押しすると、ステータス表示 LED が 2 回点滅します。モバイル端末の Bluetooth 機能をオンにして、Bluetooth 対応デバイスの画面に表示されたデバイスの一覧から“HEOS Link”を選んでください。 	—



Bluetooth 接続したデバイスの音楽が聴こえない

対処方法	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth 対応デバイスが HEOS Link とペアリングされていません。手順に従ってペアリングしてください。 	27
<ul style="list-style-type: none"> HEOS デバイスの再生モードが “Wi-Fi” または “AUX In” になっています。“Bluetooth” を選んでください。 	—
<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth 対応デバイスが別のデバイスと接続されています。別のデバイスとの接続を切断して、再度 HEOS デバイスと接続してください。 	—
<ul style="list-style-type: none"> 音量が低すぎます。Bluetooth 対応デバイスの音量、または HEOS デバイスの音量を確認してください。 	—

IR コントロールやトリガーコントロールを使って、外部デバイスを操作できない

対処方法	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> HEOS Link と AV レシーバーの接続を確認してください。 	44

HEOS Link から音が聴こえない

対処方法	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> HEOS Link と AV レシーバーまたはアンプの接続を確認してください。 	16
<ul style="list-style-type: none"> 入力ソースが AV レシーバーやアンプに正しく入力されているか確認してください。 	—
<ul style="list-style-type: none"> HEOS Link や AV レシーバーの音量が適切か確認してください。 	—
<ul style="list-style-type: none"> HEOS Link と外部デバイスの接続が正しいことと、外部デバイスの再生が正しく動作していることを確認してください。 	17



音楽が途切れる、または遅れる

対処方法	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> インターネット接続が正しく機能しているか確認してください。他のユーザーやデバイスとネットワークを共有している場合、使用帯域幅の空きが少なくなっている場合があります。(特にビデオストリーミング中のとき) 	8
<ul style="list-style-type: none"> HEOS デバイスが無線 LAN ネットワークの範囲内にあるか確認してください。 	48
<ul style="list-style-type: none"> HEOS デバイスの近くに、無線接続に干渉する他の電子デバイス(電子レンジ、コードレス電話、テレビなど)がないかを確認してください。 	48

テレビを AUX 入力すると音声が遅れる

対処方法	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> テレビなどの映像デバイスの音声出力を AUX 入力端子に入力して、2 台以上の HEOS デバイスでグループ化すると、画像と音声のずれが発生する場合があります。これはすべての HEOS デバイスに同時に音声が届くようにするために、HEOS システムでバッファリングするしくみのためです。 	—
<ul style="list-style-type: none"> 画像と音声のずれを避けるために、HEOS デバイスはグループ化せずに、1 台のみ接続してください。 	—



AUX 入力を使うと音がひずむ

対処方法	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> 再生デバイスからのアナログ出力信号が極めて大きい可能性があります。再生デバイスからの入力レベルを上げすぎると、HEOS デバイスに過負荷がかかることがあります。破損の原因にはなりませんが、音声がひずむことがあります。再生デバイスの音量を低～中に設定してから適切な音量に調節してください。音声がひずむ場合は、再生デバイスの音量を下げてください。 	—

WPS ネットワークに接続する

対処方法	参照ページ
<p>WPS (Wi-Fi Protected Setup) 対応の無線ルーターをお使いの場合は、次の手順で HEOS Link を「プッシュボタン方式」でネットワークに接続できます。</p> <p>Wi-Fi Protected Setup™は Wi-Fi Alliance の商標です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ルーターの WPS ボタンを押す。 2. 2 分以内に HEOS デバイスの背面にある CONNECT ボタンを 3 秒以上長押しする。 3. HEOS デバイスが WPS ルーターに接続されると、HEOS デバイス前面のステータス表示 LED が数秒間緑色に点滅します。 4. 接続が完了すると、HEOS デバイス前面のステータス表示 LED が青色に点灯します。 	—

OPTICAL OUT 端子に接続したデバイスの音声にノイズが入る

対処方法	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> 接続したアンプの音量が大きすぎると、ノイズが入る場合があります。その場合は、アンプの音量を下げるか、「ライン出力レベル」の設定を変更してください。 	41



HEOS デバイスを初期化する

対処方法	参照ページ
<p>HEOS デバイスを初期化すると無線 LAN ホームネットワーク情報、イコライザー、ネットワーク名などが消去されますが、現状のソフトウェアは保持されます。初期化をしたあとは“セッティング”－“HEOS デバイスの追加”で HEOS デバイスをホームネットワークに再接続してください。</p> <p>HEOS デバイスを初期化するには、HEOS デバイス背面の CONNECT ボタンおよび Bluetooth ボタンを、前面のステータス表示 LED がオレンジ色に点滅するまで約 5 秒間長押しします。</p>	－

HEOS デバイスをお買い上げ時の設定に戻す

対処方法	参照ページ
<p>HEOS デバイスをお買い上げ時の設定に戻すと、すべての設定が削除され、インストールされていたソフトウェアもお買い上げ時の設定に戻ります。</p> <p>警告</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての設定を削除するため、ソフトウェアがダウングレードされることがあります。 <p>HEOS デバイスをお買い上げ時の設定に戻すには、コンセントから電源ケーブルを抜き、HEOS デバイスの背面の Bluetooth ボタンを押したまま電源ケーブルを再び接続して、前面のステータス表示 LED が褐色に点滅するまで押し続けてください。</p>	－

* 詳しくは、<http://www.HEOSbyDenon.com> をご覧ください。



保証と修理について

■ 保証書について

この製品に同梱のスタートガイドに保証書が印刷されております。

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書を提示されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。



■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「困ったときは」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製造番号…製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。



ステータス表示LEDについて

スピーカーの状態	説明	前面 LED 表示	背面 LED 表示
オフ	AC 電源に接続されていない、またはディープスタンバイモードです	 (消灯)	 (消灯)
電源接続	起動中です	 (点滅)	 (消灯)
オン	設定完了、およびネットワークに接続済みです	 (点灯)	 (消灯)
オン	ネットワークに接続されていません	 (点灯)	 (点灯)
ネットワークの変更	ネットワークに接続中です	 (点滅)	 (消灯)

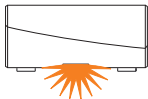
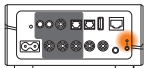
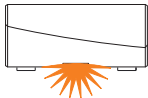
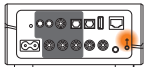
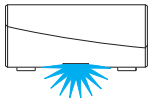
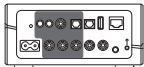
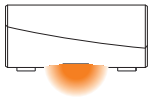
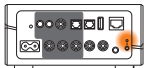


スピーカーの状態	説明	前面 LED 表示	背面 LED 表示
セットアップ	接続されていません	 (点灯)	 (点灯)
	接続ボタンを押しました	 (点滅)	 (点滅)
	ケーブルは正常に接続されています	 (点灯)	 (点灯)
	ネットワークに接続中です	 (点滅)	 (消灯)

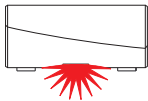
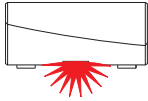
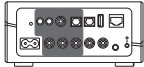
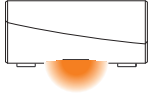
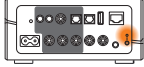
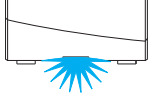
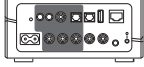
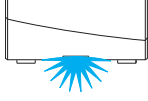
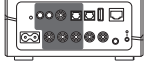


スピーカーの状態	説明	前面 LED 表示	背面 LED 表示
セットアップ	設定完了、およびネットワークに接続済みです	 (点灯)	 (消灯)
	セットアップエラーです	 (点灯)	 (点灯)
アップデート	アップデート中です	 (点滅)	 (点滅)
	再起動中です	 (点滅)	 (消灯)
	設定完了、およびネットワークに接続済みです	 (点灯)	 (消灯)

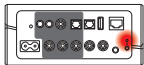


スピーカーの状態	説明	前面 LED 表示	背面 LED 表示
リセット	ソフトリセット：ユーザー設定を消去します	 (高速点滅)	 (点灯)
	ハードリセット：お買い上げ時の設定に戻します	 (点滅)	 (点灯)
	再起動中です	 (点滅)	 (消灯)
	ネットワークに接続されていません	 (点灯)	 (点灯)

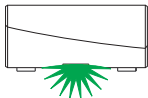
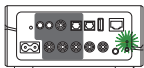
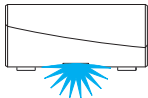
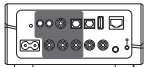
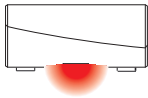
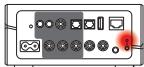


スピーカーの状態	説明	前面 LED 表示	背面 LED 表示
エラー	ファームウェアエラーです	 (低速点滅(暗くならない))	 (消灯)
	ハードウェアエラーです	 (高速点滅)	 (消灯)
	ネットワークエラーです	 (点灯)	 (点灯)
音量変更	音量変更中です	 (中速点滅)	 (消灯)
ミュート	ミュート中です	 (低速点滅)	 (消灯)



スピーカーの状態	説明	前面 LED 表示	背面 LED 表示
WPS	WPS 接続中です	 (高速点滅)	 (高速点滅)
	WPS で接続しました	 (約 3 秒間点灯)	 (点灯)
	WPS がタイムアウトしました	 (約 3 秒間点灯)	 (点灯)
省電力管理	クイックスタートモードです	 (点灯)	 (消灯)
	ディープスタンバイモードです	 (消灯)	 (消灯)



スピーカーの状態	説明	前面 LED 表示	背面 LED 表示
Bluetooth	Bluetooth ペ어링が有効です	 (2 回点滅)	 (2 回点滅)
	Bluetooth 接続しました	 (1 回点滅)	 (消灯)
	Bluetooth 対応デバイスとのペアリングに失敗しました	 (約 3 秒間点灯)	 (約 3 秒間点灯)



対応ファイルの種類とコーデック

周波数	サンプリングレート	ファイル拡張子	コーデック	ビットレート
32/44.1/48 88.2/96/176.4 192 kHz	16/24 bit	wav	PCM	---
32 kHz 44.1 kHz 48 kHz	16 bit	mp3	MPEG-1 Audio Layer 3 CBR/VBR	32 ~ 320 kbps
32 kHz 44.1 kHz 48 kHz	16 bit	m4a aac	AAC-LC	48 ~ 320 kbps
32 kHz 44.1 kHz 48 kHz	16 bit	wma	wma9 CBR	CBR:48 ~ 192 kbps
44.1/48 88.2/96/176.4 192 kHz	16/24 bit	flac	flac	---
44.1/48 88.2/96/176.4 192 kHz	16/24 bit	m4a	ALAC	---

ご注意

- Apple の Fairplay DRM などの DRM 保護されたファイルには対応していません。
- 高ビットレートまたはハイレゾ音源を選択すると、コーデックで適切なレベルに設定されて出力します。

対応する音声フォーマット(Optical)

2 チャンネルリニア PCM: 2 チャンネル、32kHz~192kHz、16/20/24bit



主な仕様

■ オーディオ部

THD+N:	0.003 %
S/N 比:	100dB
周波数特性:	10Hz～100 kHz: +1、-3dB

■ 無線 LAN 部

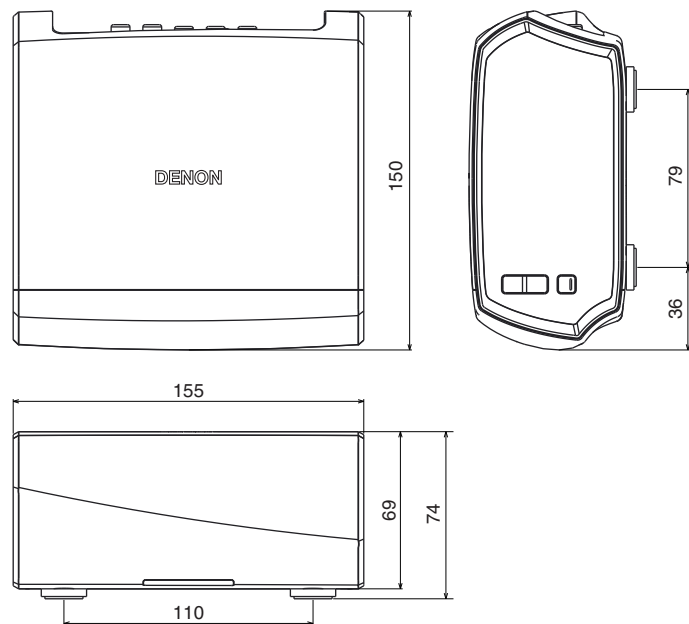
ネットワーク種類(無線 LAN 規格):	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac に対応
使用周波数帯域:	2.4GHz、5GHz

■ 総合

動作温度:	5℃～35℃
電源:	AC 100～240 V、50/60 Hz
消費電力:	20 W
クイックスタートモード時の消費電力:	4 W
ディープスタンバイモード時の消費電力:	0.3 W



■ 寸法(単位:mm)



■ 質量: 1.3 kg

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。



情報

登録商標について



Google Play は、Google Inc. の商標または登録商標です。



Apple の名称およびロゴは、米国およびその他の国における商標です。
App Store は Apple Inc. のサービスマークです。



Amazon, Kindle および Kindle Fire は Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、D&M Holdings Inc. はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。



ライセンス

■ 本機で使用するソフトウェアのライセンス情報

GPL、LGPL ライセンスについて

本製品では、GNU-General Public License(以下 GPL)、GNU Lesser General Public License(以下 LGPL)などが適用されるコードを一部のモジュールで使用しております。

これらのソフトウェアに関しては、各ライセンスに基づきソースコードを入手、改編、配布できます。

当社のお客様相談センターにお問い合わせいただければ、実費にて GPL、LGPL ライセンスに基づくソースコードをご提供させていただきます。なお、提供しているソースコードは保証されていません。また、ソースコードの内容についてのお問い合わせは受け付けておりませんので、あらかじめご了承ください。

ここでは、本機に使われているソフトウェアの利用許諾(ライセンス)について記載しています。正確な内容を保有するため、原文(英語)を記載しています。

□ GPL

使用オープンソース	バージョン
bridge-utils	2.8
busybox	1.21.1
e2fsprogs	2.0.10-4
Linux kernel	3.10.74
mtd-utils	1.4.3
ntfs-3g_ntfsprogs	2011.4.12
ntpclient	2007
u-boot	2015.01
wireless-tools	version 29



❑ LGPL

使用オープンソース	バージョン
ffmpeg	0.8.3
glibc	2.9
libmms	0.6.2

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

❑ curl-7.24.0

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2014, Daniel Stenberg,
<daniel@haxx.se>

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.



❏ e2fsprogs-libs-1.40.8/lib/uuid

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, and the entire permission notice in its entirety, including the disclaimer of warranties.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ALL OF WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR

TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



❏ expat-2.0.1

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE

OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.



❏ getopt

<http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/lib/libc/stdlib/>

Copyright (c) 1987, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL

DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



□ jQuery

Copyright 2014 jQuery Foundation and other contributors

<http://jquery.com/>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

□ libpcap-1.4.0

License: BSD

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.



□ libtar-1.2.11

Copyright (c) 1998-2003 University of Illinois Board of Trustees

Copyright (c) 1998-2003 Mark D. Roth

All rights reserved.

Developed by: Campus Information Technologies and Educational Services, University of Illinois at Urbana-Champaign

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal with the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the names of Campus Information Technologies and Educational Services, University of Illinois at Urbana-Champaign, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE CONTRIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS WITH THE SOFTWARE.



❏ mDNS 320.10.80

The majority of the source code in the mDNSResponder project is licensed under the terms of the Apache License, Version 2.0, available from:

<<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>>

To accommodate license compatibility with the widest possible range of client code licenses, the shared library code, which is linked at runtime into the same address space as the client using it, is licensed under the terms of the “Three-Clause BSD License” .

The Linux Name Service Switch code, contributed by National ICT Australia Ltd (NICTA) is licensed under the terms of the NICTA Public Software Licence (which is substantially similar to the “Three-Clause BSD License” , with some additional language pertaining to Australian law).

❏ mongoose

<https://github.com/cesanta/mongoose/>

Copyright (c) 2004-2013 Sergey Lyubka

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS” , WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.



❏ openssl-1.0.0d

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
“This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(<http://www.openssl.org/>)”
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

“This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit
(<http://www.openssl.org/>)”



THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

❏ portmap-6.0

Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California.

- * All rights reserved.
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. A ll advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF



MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

❏ pstdint.h-0.1.12

- * BSD License:
- * Copyright (c) 2005-2011 Paul Hsieh
- * All rights reserved.
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
- * IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR



SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

❏ rI78flash 2000.3.1

License

=====

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2012 Maxim Salov

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE



OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

❏ **sqlite 2003.5.7**

SQLite Copyright
SQLite is in the
Public Domain

All of the code and documentation in SQLite has been dedicated to the public domain by the authors. All code authors, and representatives of the companies they work for, have signed affidavits dedicating their contributions to the public domain and originals of those signed affidavits are stored in a firesafe at the main offices of Hwaci. Anyone is free to copy, modify, publish, use, compile, sell, or distribute the original SQLite code, either in source code form or as a compiled binary, for any purpose, commercial or non-commercial, and by any means.

The previous paragraph applies to the deliverable code and documentation in SQLite - those parts of the SQLite library that you actually bundle and ship with a larger application. Some scripts used as part of the build process (for example the “configure” scripts generated by autoconf) might fall under other open-source licenses. Nothing from these build scripts ever reaches the final deliverable SQLite library, however, and so the licenses associated with those scripts should not be a factor in assessing your rights to copy and use the SQLite library.

All of the deliverable code in SQLite has been written from scratch. No code has been taken from other



projects or from the open internet. Every line of code can be traced back to its original author, and all of those authors have public domain dedications on file. So the SQLite code base is clean and is uncontaminated with licensed code from other projects.

❏ **strcpy.c , v1.11**

- * Copyright (c) 1998 Todd C. Miller
<Todd.Miller@courtesan.com>
- * Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.
- * THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

❏ **taglib-1.5**

copyright : (C) 2002 - 2008 by Scott Wheeler
email : wheeler@kde.org

"The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the



License. You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an “AS IS” basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

❏ tinymce 2002.4.3

www.sourceforge.net/projects/tinymce

Original file by Yves Berquin.

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.



□ Tremor

<http://wiki.xiph.org/index.php/Tremor>

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE

GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



□ zlib

<http://www.zlib.net/>

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose
compression library version 1.2.3, July 18th, 2005
Copyright (C) 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark
Adler

This software is provided 'as-is', without any
express or implied warranty. In no event will the
authors be held liable for any damages arising from
the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software
for any purpose, including commercial applications,
and to alter it and redistribute it freely, subject to the
following restrictions:

1. The origin of this software must not be
misrepresented; you must not claim that you wrote
the original software. If you use this software in a
product, an acknowledgment in the product
documentation would be appreciated but is not
required.
2. Altered source versions must be plainly marked as
such, and must not be misrepresented as being the
original software.
3. This notice may not be removed or altered from any
source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org, Mark Adler
madler@alumni.caltech.edu



- Spotify ソフトウェアはここにあるサードパーティーのライセンスを受けています。

www.spotify.com/connect/third-party-licenses





当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 **0570 (666) 112**

FAX : 044 (330) 1367

■ 受付時間 9:30～17:30

(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

■ 上記番号がご利用いただけない場合  **050 (3388) 6801**

〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

■ お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQ（よくある質問と回答）をご確認ください。

<http://denon.jp/jp/html/faq.html>

■ メールでお問い合わせをいただくこともできます。

<http://denon.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 **0570 (666) 811**

■ 受付時間 9:30～12:00、13:00～17:30

(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

■ 上記番号がご利用いただけない場合  **0466 (86) 9520**

■ 故障・修理・サービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。

<http://denon.jp/jp/html/service.html>

■ 代表修理窓口

首都圏サービスセンター

〒252-0816 神奈川県藤沢市速藤210-16

FAX : 0466 (86) 9522

* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

3520 10476 00AD

Copyright © 2016 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.